

【暮らす】施策の柱23							
①予算事業名	空港消防管理事業	予算科目	9-1-5-3		基本構想上の位置づけ 上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	安心・快適な生活環境づくり	
②担当部課名	消防本部	事業実施(予定)年度	H30~H32		基本計画の該当箇所	災害に強い島づくり 施策の柱23-1	
③事業内容	久米島空港における火災及びその周辺における航空機事故の消火救難業務を適正に執行することにより、町民、空港関係者及び利用者を各種の災害から保護すること。						
④実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
⑤事業費 【単位：円】		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費	9,929,000	9,836,000	7,905,000	7,905,000	7,905,000
		(c)地方債等					
		(d)一般財源	1,037,000	228,000	1,164,000	1,164,000	1,164,000
	計(a~d)	10,966,000	10,064,000	9,069,000	9,069,000	9,069,000	
	特定財源名	(a)または(b)の名称		空港消防管理交付金	(c)の名称		
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	①消火救難業務を執行する上での知識の向上及び技術の向上を目標に次のことを実施する。 ア、長崎の研修所等へ職員を派遣し、職員の知識及び技術の向上に努める。 イ、定期に実施している訓練内容の見直し、検証を実施し消防対応力の向上に努める。 ウ、非常勤職員の技能の向上に努める。 ②消防庁舎は、経年劣化が見られるため、随時、沖縄県と調整し改修する。					
	平成31年度	①消火救難業務を執行する上での知識の向上及び技術の向上を目標に次のことを実施する。 ア、長崎の研修所等へ職員を派遣し、職員の知識及び技術の向上に努める。 イ、定期に実施している訓練内容の見直し、検証を実施し消防対応力の向上に努める。 ウ、非常勤職員の技能の向上に努める。 ②消防庁舎は、経年劣化が見られるため、随時、沖縄県と調整し改修する。					
	平成32年度	①消火救難業務を執行する上での知識の向上及び技術の向上を目標に次のことを実施する。 ア、長崎の研修所等へ職員を派遣し、職員の知識及び技術の向上に努める。 イ、定期に実施している訓練内容の見直し、検証を実施し消防対応力の向上に努める。 ウ、非常勤職員の技能の向上に努める。 ②消防庁舎は、経年劣化が見られるため、随時、沖縄県と調整し改修する。					
⑦成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値 (29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値 (37年度)	
	空港消防による取り組み活動	目標	()	()	()	()	
		実績					
		目標	()	()	()	()	
		実績					
事業成果等	特殊な火災である航空機事故及び空港関連施設の災害対応のため、長崎の研修所等に職員を派遣し知識及び技術の向上を図ることにより、空港消防所の使命である久米島空港及びその周辺の消火救難業務が適正に執行できる。また、庁舎を適正に管理することにより、庁舎管理費の軽減並びに安全管理が図られる。						
⑧写真及び図面							